

イベント事業評価を踏まえた取組状況調査票（平成30年度）

| No. | 事業名                         | 所管部・課          | 事業開始年度 | 事業開始の経緯など                              | 事業の目的   | 当初評価（平成28年度） |  |          |  | 平成30年度実績    |              |              |               |                       |                   |         |           |       |  | 今後の取組予定（令和元年度）  |
|-----|-----------------------------|----------------|--------|--|---|--------------|--|----------|--|-------------|--------------|--------------|---------------|-----------------------|-------------------|---------|-----------|-------|--|---|
|     |                             |                |        |  |   | 担当課評価（概要）    |  | 二次評価（概要） |  | 平成30年度の取組状況 |              |              |               |                       |                   |         |           |       |  |   |
|     |                             |                |        |  |   | 実施時期         | 参加者数 (a)   | 会計区分     | 人件費 (b)  | その他経費 (c)   | 経費合計 (d=b+c) | 国・府補助金など (e) | 町の負担額 (f=d-e) | 参加者一人当たり概算コスト (g=f/a) | 見直し等の取組状況（平成30年度） |         |           |       |  |   |
| 1   | ふれあい夜店と人権文化まつり              | 総合政策部 人権文化センター | S57    | 住民のみなさんに親しまれる施設をめざして                   | 人権文化の構築、近隣住民・関係団体・利用団体等との交流を進め、人権尊重のまちづくりを進める | 効率化・要改善      | まつりにおける「人権啓発」を強化することで、複合的な啓発に取り組みたいことを検討   | 効率化・要改善  | 「人権尊重のまちづくり」という観点から、啓発の要素を充実させる（パネル展示を同時期に開催するなど）ことが望ましい。担当課が模擬店に出する複数団体の事務局を担っているが、事業全体を円滑かつ効率的に運営する観点から、職員関与のあり方などについて検討が必要。昼の部と夜の部が分離していることは非効率とも考えられる。時間帯の統合により、イベント全体の集客力アップと人件費コストの削減を図っていただくことが望ましい。  | 9月          | 6,367        | 一般           | 278,382       | 755,975               | 1,034,357         | 0       | 1,034,357 | 162   | 島本町人権啓発推進協議会に協力依頼し、職員の負担軽減を図った。  | 昼の部にあたる人権文化まつりについては、参加団体が少ないことから開催を見送ることとし、効率的な運営を検討する。   |
| 2   | 人権のつどい                      | 総合政策部 人権文化センター | S57    | 「世界人権宣言35周年記念事業」として（人権週間事業）            | 人権・平和啓発講演会等を通じて、住民の方々に人権と平和の重要性に理解を深めてもらう     | 効率化・要改善      | 実施時期が12月の休日ということもあり、来場者が多くないことが最大の課題。  | 統合・縮小化   | 人権に係る他の定例行事では多数の参加者があるが、同会場で7月に実施する「人権と平和のつどい」と比較しても、本事業に係る近年の参加者数は低調な状況にある。人権週間における広報啓発の手法は様々で、実施時期がハンデになるのであれば、必ずしもこの期間中に公演行事を実施しなければならない訳ではないと考えられる。関係団体とも協議しながら、ケリヤホールを会場とする同一目的の2事業を一本化（例えば、映画上映と著名人による講演などを隔年で実施するなど）するか、他の集客力を有する行事（福祉大会など）との同時開催に向けた検討を行うことが望ましい。  | 12月         | 86           | 一般           | 139,191       | 441,200               | 580,391           | 243,200 | 337,191   | 3,921 | 共催の島本町人権啓発推進協議会に受け付けを依頼し、動員数を削減することにより職員の負担軽減を図った。   | 共催の島本町人権まちづくり協会に準備段階から協力を依頼する。また、これまで同日に開催していた、人権標語募集事業の表彰式を、各小学校の二期終業式に実施することにより、つどい当日の効率化を図る。 |
| 3   | 人権と平和のつどい                   | 総合政策部 人権文化センター | S63    | 「世界人権宣言40周年記念」と銘打って                    | 人権・平和啓発映画の上映を通じて、住民の方々に人権と平和の重要性に理解を深めてもらう    | 効率化・要改善      | 実施に係る事務を効率化することで人件費削減の余地がある。   | 統合・縮小化   | 会場に対する来場者数の状況は良好で、アンケート結果から満足度の高さが伺える。一方、同会場で12月に実施する「人権のつどい」の参加者数は低調な状況にある。近年、町の補助団体により、幅広い世代を対象とする様々な啓発事業が実施されている状況も踏まえ、ケリヤホールを会場とする同一目的の2事業を一本化（例えば、映画上映と著名人による講演などを隔年で実施するなど）することについて、関係団体とも協議しながら、検討していただきたい。   |             |              |              |               |                       |                   |         |           |       | 平成30年度は共催していた島本町人権啓発推進協議会の負担により、人権文化センター内において平和子どもシアターを開催し、費用や職員の負担軽減を図った。このことにより、平成30年度から当該事業を終了した。 |   |
| 4   | 防災とボランティア訓練                 | 総務部 危機管理室      | H9     | 阪神・淡路大震災の日が「防災とボランティアの日」と定められたことを契機として | 防災意識の高揚を図るとともに、災害時の住民の自主的な避難・誘導体制等の訓練に専らする    | 効率化・要改善      | 各自自主防災組織や自治会でも同様の訓練を実施されており、規模の違いだけとの見方もできる。町の総合防災訓練との統合も視野に入れ検討する。                      | 効率化・要改善  | 自治会長連絡協議会、自主防災会連絡協議会、町の3者が主催し、避難・防災資機材・消火・炊き出し訓練などが実施されており、意義のある取組内容となっている。一方で、企画・事前準備から当日の運営に至るまで、大部分が職員負担で成り立っており、当初の事業趣旨である「自助」「共助」へのシフトを図るべく、担当課評価のある実行委員会制への移行や、町防災訓練との統合も視野に、効果的な実施手法を検討していただくこととする。   | 1月          | 314          | 一般           | 556,764       | 41,085                | 597,849           | 0       | 597,849   | 1,904 | 平成30年度は、訓練の主旨を明確にするため、避難所開設訓練にて避難用簡易テントの設置手順について重点的に確認を行った。  | 平成31年度は、一定の時間毎に想定した動きを加える等、より実践に沿った訓練となるよう検討を行う。  |
| 5   | 福祉大会                        | 健康福祉部 福祉推進課    | S59    | 「敬老の日」の記念品贈呈・演芸会等から始まる（S59～福祉大会）       | 福祉関係団体、高齢者・障害者等の参加のもと、福祉に関する啓発や交流、福祉意識の醸成を図る  | 効率化・要改善      | 目的・対象・内容が広範多岐にわたるため、目的や対象の絞り込みを行い、より効率的な手法で実施する必要がある。                                    | 効率化・要改善  | 課題となる点は、職員負担の大きさ、社会福祉協議会に企画運営を委託している一方で、会場設営、式典対応、警備などに職員が動員されており、これらの適正化に向けた検討が必要。表裏については類似事業との統合、活動発表については他の事業における舞台発表や作品展示などとの連携、警備については委託範囲の拡大などにより、人件費を抑制できる可能性がある。担当課が改善案として掲げている内容も踏まえて、効率的な実施に向けた具体的な検討、調整を進めていただくこととする。   | 9月          | 2,400        | 一般           | 708,553       | 969,000               | 1,677,553         | 0       | 1,677,553 | 699   | 昨年度に引き続き、式典の会場設営を前々日の平日に行うことにより、時間短縮・人件費削減に努めた。また、当日の警備の数を減らし、職員配置の数を減らすことにより、人件費削減に努めた。             | 福祉大会は廃止し、社会福祉協議会が主体となり、事業を継続する予定。   |
| 6   | 障害者週間ふれあいバザール               | 健康福祉部 福祉推進課    | H24    | 障害者週間啓発事業の一環として                        | 障害者理解の促進、施設の販売商品のPR、工賃向上を目的とする                | 効率化・要改善      | 単独の販売イベントとしては小規模で集客に限りがあるため、他事業との連携を検討する必要がある。   | 効率化・要改善  | 町の負担はほぼ人件費のみであり、集客状況からすると比較的小さいコストで実施できている状況にはあるが、担当課の改善案に基づき、今後、より大きなPR効果・販売業績を上げることができるよう、駅前での開催や他事業との連携に向け、関係者と調整を図っていただくこととする。   | 12月         | 1,132        | 一般           | 142,760       | 0                     | 142,760           | 0       | 142,760   | 126   | 昨年度に引き続き、水無瀬駅前にて別事業と同日開催したことにより、集客率の向上を図った。実際、昨年度よりもさらに多くの参加人数となった。                                  | 引き続き、別事業との同日に駅前で開催することを目標とする。しかし、別事業が別日に異動する可能性があるため、日程の調整等が必要となった。                             |
| 7   | 農林業祭                        | 都市創造部 にぎわい創造課  | S58    | 近郊農業・林業の振興を図る必要性から                     | 本町の農林業の振興を図ることを目的とする                          | 効率化・要改善      | 実際には多くの業務を職員が行っている。実行委員で実施できない事業については、実施が本当に必要なか再検討するなど、職員の関与は効果的かつ最小限のものとなるよう検討する必要がある。 | 効率化・要改善  | 職員の関与が非常に大きいのが特徴。町内で収穫された農産物にふれ、地産地消を推進することも本イベントの成果の1つとなっているが、他府県産の野菜の販売など、事業目的に必ずしも直結しないと見られる内容も含まれている。運営面の役割分担における町職員の関与を低減させることや、事業目的に照らしたの行事メニューの精選、会場警備・整理の一部を外部委託できないかの検討など、効率的・効果的な実施に向け、関係者と丁寧に調整していただくことが望ましい。農地所有者以外で農業の担い手になりたいという方がいるなら、そのような方に協力していただくのも一案。他団体事例を参考に他の行事（例えば消費者まつり）と統合的に実施することについても検討の余地がある。 | 11月         | 約 5,000      | 一般           | 2,671,421     | 1,001,560             | 3,672,981         | 0       | 3,672,981 | 735   | 職員の関与を低減させることはできなかったが、引き続き統合や効率的な運営に向けて検討した。   | 役場前駐車場が使用できなくなることで、また、近年の農産物の減少などを鑑み、今後他のイベントとの統合等も視野に入れ、検討していく。                                |
| 8   | 観光あるき                       | 都市創造部 にぎわい創造課  | H24    | 阪急電鉄と沿線自治体の連携事業として                     | 阪急京都線沿線の市町の魅力を伝える                             | 現状維持         | 観光施策のメイン事業の一つであり、広域連携の取組の一つでもあることから、現状を維持すべき。  | 効率化・要改善  | 本町の観光資源を、電鉄会社の知名度や広域力を活用して広く発信することと、本町への新しい人の流れの創出に寄与していると考えられる。一方で、費用対効果の面で課題が見られ、職員関与の効率化が必要。類似事業も含めた事業効率の向上に向け、調査検討していただきたい。対象者を「どなたでも」としているが、定住促進・観光振興計画では、誘導する観光客のターゲットを「近隣市町の住民」としており、戦略的に対象者を限定することも一案。   | 4月10日       | 計 46         | 一般           | 223,540       | 207,160               | 430,700           | 0       | 430,700   | 9,363 | 阪急電鉄や他市町村との合同で開催している事業のため、対象者は例年通り限定せず実施した。なお、観光あるきについては今期で終了とした。                                    | 阪急電鉄と他市町村と合同で開催する新たな観光事業について検討していく。   |
| 9   | サントリー山崎蒸溜所との連携によるまちあるき      | 都市創造部 にぎわい創造課  | H25    | サントリー山崎蒸溜所と大山崎町の共同事業として                | 本町の重要な観光資源である山崎蒸溜所と共同し、まちの魅力を伝える              | 効率化・要改善      | 他の事業（観光あるき）との統合なども検討する必要がある。   | 効率化・要改善  | 共催してきた大山崎町不参加となったことを受け、事業内容を大幅に見直しされているが、見直し成果の検証とともに、類似事業も含めた事業効率の向上に向け、開催頻度や手法、職員関与のあり方などを調査検討していただきたい。対象者を「どなたでも」としているが、定住促進・観光振興計画では、誘導する観光客のターゲットを「近隣市町の住民」としており、戦略的に対象者を限定することも一案。   | 3月          | 27           | 一般           | 142,760       | 0                     | 142,760           | 0       | 142,760   | 5,287 | 今年度は本町の単独開催となり、事務負担は増加した。次年度以降の合同開催に向けて協議した。   | 合同開催による事務の軽減に努めるとともに、対象者については幅広く募集することとした上で、観光あるき等との合同について引き続き検討していく。                           |
| 10  | ワクワク！しまもと環境学校（旧：水無瀬川ウォッチング） | 都市創造部 環境課      | H27    | 水無瀬川ウォッチング(S62～)の事業見直しにより              | 島本町環境基本計画に掲げる環境学習を、住民・事業者・町の協働で推進する           | 重点・拡大        | 事業見直しを行って間がないため、現状を維持しつつ工夫を重ねる。必要に応じて実行委員会形式への移行も検討。あわせて統合可能な事業を模索する。                    | 効率化・要改善  | 平成27年度に事業内容を大幅に見直し、住民・事業者との協働事業に転換するとともに、一定のコスト削減が図られている。町の総合戦略との関連性も高い。しかしながら、依然として多くの職員が会場設営などに携わっており、担当課評価のある実行委員会制への移行なども含め、効率的・効果的な実施に向けた改善を重ねていただきたい。  | 7月          | 258          | 一般           | 356,900       | 27,453                | 384,353           | 0       | 384,353   | 1,490 | 平成27年度の事業見直しから4年が経過し、イベントとしての内容が定着してきたところであり、大きな見直し等は行っていない。   | 参加団体数の拡大に向けて、町内企業への出展呼びかけを行う。   |

イベント事業評価を踏まえた取組状況調査票（平成30年度）

| No. | 事業名                  | 所管部・課       | 事業開始年度 | 事業開始の経緯など                                | 事業の目的  | 当初評価（平成28年度） |   | 平成30年度実績 |  |             |          |      |           |           |              |              |                   | 今後の取組予定（令和元年度） |   |  |
|-----|----------------------|-------------|--------|--|--|--------------|---|----------|--|-------------|----------|------|-----------|-----------|--------------|--------------|-------------------|----------------|---|--|
|     |                      |             |        |  |  | 担当課評価（概要）    |   | 二次評価（概要） |  | 平成30年度の取組状況 |          |      |           |           |              |              | 見直し等の取組状況（平成30年度） |                |   |  |
|     |                      |             |        |  |  | 効率化・要改善      | 現状維持  | 効率化・要改善  | 現状維持   | 実施時期        | 参加者数 (a) | 会計区分 | 人件費 (b)   | その他経費 (c) | 経費合計 (d=b+c) | 国・府補助金など (e) |                   |                | 町の負担額 (f=d-e)   | 参加者一人当たり概算コスト (g=f/a)  |
| 11  | 町内一斉清掃及び不法屋外広告物等撤去活動 | 都市創造部環境課    | 不明     |  | 在住・在勤者等の清掃への参加により、まちの美化と住民の美化意識の向上を目的とする                                 | 効率化・要改善      | 広務手法について、より多くの方に参加いただけるよう創意工夫する。事業実施回数や手法などの検討を行う。  | 効率化・要改善  | 事業目的に合致した取組内容である。幅広い世代の多くの住民の皆様に参加いただけており、環境美化に対する啓発効果も高いと考えられる。経費削減の余地は少ないと思われるが、より効率的・効果的な事業実施に向け、実施回数や手法について検討していただきたい。   | 7.12月       | 5,200    | 一般   | 899,388   | 769,597   | 1,668,985    | 0            | 1,668,985         | 321            | 事業内容については、変更できる余地が少ないことから、参加者数の拡大について検討を行った。  | 配布しているタオルにみづまろくんのイラストを入れるなど、より多くの人に来ていただけるよう検討を行う。   |
| 12  | 大藪浄水場の一般開放           | 上下水道部工務課    | S50    | 水道週間事業として                                | 水道水ができるまでの一連の工程を知っていただき、水道水をより安心して飲んでいただく                                | 効率化・要改善      | 町の水源である井戸水を活用するなど、来場者を増加させる取組を検討する。   | 効率化・要改善  | 本町の魅力の一つである「水」を安心して使用していただくための取組であり、事業内容は目的に合致していると考えられるが、昨年度の参加者は3名にとどまり、費用対効果の面で大きな課題がある。経費の大半は土・日曜日対応のための人件費で、平日については通常業務を行いつながる対応が可能なことである。したがって、まずは土・日曜日の実施に係る見直しを行っていただくこととする。その後の参加者数の推移によっては、事業自体のあり方も含めた検討が必要。  | 6月          | 65       | 水道事業 | 234,788   | 128,001   | 362,789      | 0            | 362,789           | 5,581          | 案内時間を3部制にし開始時間を固定化することで、来場者の待機時間の解消、職員の人員配置の適正化を図った。  | 昨年度の3部制の取り組みが効率的であったため、同様の取り組みを行う。   |
| 13  | 防火まつり                | 消防本部管理課     | S54    | 春の防災予防運動をより有意義なものにするため                   | 防火思想の普及徹底、救急車の適正利用、救命講習の普及   | 現状維持         | 過去回数にわたり内容を見直ししながら、防火思想の普及啓発を目的に安全・安心なまちづくりに努めている。救急車の適正利用、救命講習の普及にもつなげている。   | 効率化・要改善  | 文化祭と同開催することによる集客効果が認められる。町の負担は人件費コストのみ、比較的少ない経費で実施できていると認められるが、当日には20人以上の職員が動員されており、より効率的な実施に向け工夫を行う余地はあると思われる。救急車の適正利用に係る啓発や、救命講習を実施するなど、必要に応じ内容の見直しが行われているが、啓発効果を検証するため、なるべく職員に事務負担をかけない方法で、来場者の声を聴取することも検討していただきたい。   | 11月         | 750      | 一般   | 285,520   | 0         | 285,520      | 0            | 285,520           | 381            | 来場者へのアンケートを実施し、満足している割合が94.4%と高評価であった。  | 安全管理を考慮しながら職員動員数の削減に努める。   |
| 14  | 文化祭                  | 教育こども部生涯学習課 | S39    | 「文化の日」行事として、島本町文化の会（現：文化協会）が第1回を開催       | 「まもろう・つくろう・そだてよう」をテーマに、島本の文化を育むとともに、生涯学習の普及振興を促進する                       | 効率化・要改善      | 実行委員会の組織内容を検討する必要がある。同日開催を各部門毎に実施することで、安全対策やイベント運営が現状より容易になる。一定期間におけるイベントの総称としての「文化祭」を検討し、期間中に青少年健全育成大会を包括することも検討したい。 | 効率化・要改善  | 規模や来場者数の面で町内最大のイベント。来場者数は1万人を超え、実施会場が複数あるイベントにも関わらず、費用対効果の面では他事業との比較において適正と評価できる。文化祭の同時開催に青少年健全育成大会が実施されており、担当課の負担がこの時期に重なっている。また、青少年健全育成大会は、第一部「人形劇」と第二部「舞台発表（島本ART-BOX）」で構成されているが、第二部では文化祭の舞台部門（ケリヤホール及びパフォーマンス広場）と内容面での類似性が認められる。これらの統合的実施も視野に、担当課評価にある「文化祭」期間の中に、青少年健全育成大会などを包括することを検討していただくこととする。                                     | 11月         | 約 13,300 | 一般   | 1,022,961 | 2,633,576 | 3,656,537    | 0            | 3,656,537         | 275            | 青少年健全育成大会の開催時期が従来の開催時期から移行したことにより、新たな出展者を得られた。また、実行委員会で協議を進め、募集案内の内容刷新を図った。   | ふれあいセンターの保育室整備による影響を鑑み、より安全に留意した実施内容となるよう、実行委員会で検討していく。  |
| 15  | 青少年健全育成大会            | 教育こども部生涯学習課 | S59    | 青少年の健全育成と非行防止の啓発を目的に「全国青少年健全育成強調月間」にあわせて | 青少年が心身ともに健やかに成長できるよう、家庭や学校をはじめ地域と行政が連携し、青少年を取り巻く健全な環境を形成することを目的とする       | 効率化・要改善      | さらなる改善に向け、他事業との連携・統合について検討する余地はある。  | 統合・縮小化   | 第一部の人形劇には未就学児とその保護者を中心に多数の参加者があるが、「月間」の趣旨から、児童虐待予防啓発などを併せて実施すればより効果的ではないかと思われる。第二部の舞台発表（島本ART-BOX）は、文化祭の舞台部門（ケリヤホール及びパフォーマンス広場）と内容面での類似性がある。近年、住民主体での音楽イベントが定期的に開催されており、民間代替可能性も認められる。運営面では、多くを青少年指導員協議会に担っていたものであるが、同時期に文化祭があるため担当課の負担がこの時期に重なっている。担当課評価でも他事業との連携・統合の余地について言及があり、今後、青少年指導員協議会とも協議のうえ、「文化祭」期間中に本事業を包括するなどの検討を行っていただくこととする。 | 7月          | 441      | 一般   | 303,023   | 457,013   | 760,036      | 0            | 760,036           | 1,723          | 第一部人形劇、第二部舞台発表から、モバイルプラネタリウムを中心とした体験型の事業に見直しを行った。前日準備が不要になり、人件費が大幅に削減できた。内容も概ね好評を得た。開催時期についても見直しを行い、夏休みの子どもの居場所づくり事業の中に位置づけた。   | 平成30年度の開催では、参加希望者が多く、来場しても体験できない方が発生した。そのため、主管する青少年指導員協議会や委託先である大阪市立科学館と相談し、予算の範囲で体験回数の増や整理券等の参加方法についてさらに工夫をする予定である。 |
| 16  | 成人祭                  | 教育こども部生涯学習課 | 不明     | 「成人の日」行事として                              | 新成人に成人としての自覚を新たに啓発し、成人の門出を祝うことを目的とする                                     | 現状維持         | 式典の要素が強く、一般的に行政が主催しているものがある。  | 効率化・要改善  | 新成人の9割近くが参加しており、新成人が実行委員を担い社会参画することにより、成人としての自覚を持ってもらう良い機会となっている。当日の動員職員数が多いことが課題。担当課の改善案にある会場や来賓の見直しなども含め、事業の規模などに応じた効率的な実施に努めていただくこととする。   | 1月          | 247      | 一般   | 451,090   | 1,040,472 | 1,491,562    | 0            | 1,491,562         | 6,039          | 対象者が全員入場できるよう、来賓を大幅に削減した。また案内を出した来賓についても出欠席の予定を事前に伺い無駄な空席を無くす努力を行った。来賓ではなくなった町議会議員については、式次第にメッセージを掲載することで理解を得た。壇上に着席する来賓及び主催者は式典中ずっと壇上についていただくことで、会場に用意する座席を省くことができた。直接行政が関与していないが、記念写真の販売方法についても業者と相談し、ネット販売に変更となったため、成人祭終了後の人の動きや撤収作業がスムーズであった。 | 引き続き来賓についての見直しを行うとともに事業全体がスムーズに進行できるよう検討を行う。   |
| 17  | 水無瀬駒のふるさと小・中学生等将棋大会  | 教育こども部生涯学習課 | H22    | 水無瀬駒を町指定文化財に指定、その啓発や伝統文化の活性化のため          | 水無瀬駒のふるさとである本町の将棋文化等の保護と発展、住民の郷土理解と文化の向上、文化遺産を活かした観光振興・地域活性化の発展          | 効率化・要改善      | 小規模及び中規模教室とし、開催日の統合などによる効率化を図り、実行委員の負担を軽減する。  | 効率化・要改善  | 比較的近年に開始され、内容的にも本町の貴重な文化財の顕彰と住民の郷土理解などにつながる取組と認められる。また、文化庁の補助金を活用しており、町の負担は人件費コストのみとなっている。引き続き、実行委員会とも協議のうえ、創意工夫をもって、観光振興にもつなげるための取組と、より効率的な運営をお願いしたい。   | 9月          | 約 270    | 一般   | 144,545   | 350,450   | 494,995      | 350,440      | 144,555           | 535            | 将棋教室において、従来曜日を指定して開催していたものを、1週間連続した日程とすることで、一日ごとの準備・片付けの手間が大幅に削減できた。  | 平成30年度に引き続き、実行委員会で講師を1人増員してより手厚い指導を図ることで、初心者も参加しやすい内容となるよう検討する。  |
| 18  | 町民スポーツ祭              | 教育こども部生涯学習課 | S42    | 「体育の日」行事として                              | 生涯スポーツの普及振興を促進し、生涯スポーツボランティアの育成等に努めることともに、住民相互の親睦と健康増進のため                | 現状維持         | より多くの自治会の参加を促すため、新たなアイデアを考え事業の充実を図ることが必要。   | 効率化・要改善  | 幅広い世代の多数の参加者があり、事業の目的である「町民相互の親睦と健康増進」に寄与しているものと考えられる。一方で、自治会の参加率としては低調な状況にあり、高齢化の進展などに伴い、今後、自治会対抗という側面を維持することについては困難が予想される。引き続き効率的な事業実施と、将来に向けて持続可能な取組とするための調査研究に努めていただきたい。   | 10月         | 3,700    | 一般   | 214,020   | 2,331,843 | 2,545,863    | 0            | 2,545,863         | 688            | 主催している実行委員会において、高齢世代の参加種目等について議論を進めた。   | 引き続き、より効率的かつ持続可能な取組とするよう、実行委員会での検討に努める。  |
| 19  | スポーツ・レクリエーション祭       | 教育こども部生涯学習課 | H8     | 「なみはや国体」を契機として                           | 町民だけれども、生涯それぞれの時期において、体力や年齢に応じて、いつでも、どこでもスポーツに親しむことができる「生涯スポーツのまちづくり」の実現 | 現状維持         | マンネリ化を回避すべく、アンケート結果を反映させるとともに種目の変更等を検討し、事業の周知と充実を図る。  | 効率化・要改善  | 「生涯スポーツのまちづくり」という事業目的に合致した取組内容と認められる。一方で、担当課がイベントに求める成果が町民スポーツ祭と同一内容となっており、統合実施などの可能性について検討の余地がある。事業目的及び内容の面で、総合型地域スポーツクラブにおける取組とも共通性が認められることから、実施主体のあり方などについても検討の余地があると思われる。将来に向け、実行委員会とも協議しながら効率的な実施手法を検討していただきたい。   | 3月          | 399      | 一般   | 53,505    | 662,341   | 715,846      | 0            | 715,846           | 1,794          | 会場を従来の2か所から第一中学校の1か所に集約し、効率的かつ効果的な実施を図った。   | 引き続き、より効率的かつ持続可能な取組とするよう、実行委員会での検討に努める。  |